

<報道発表資料>

令和3年7月30日

埼玉県景気動向指数（令和3年5月分）の公表について

1 基調判断

- 景気動向指数（CI 一致指数）は、改善を示しています。

2 指数の動き

- 5月のC Iは、先行指数：120.8、一致指数：76.9、遅行指数：82.8となりました。（平成27年=100）
- 先行指数は、前月と比較して3.2ポイント上昇し、2か月連続の上昇となりました。3か月後方移動平均は、0.57ポイント上昇し、5か月連続の上昇、7か月後方移動平均は、1.69ポイント上昇し、9か月連続の上昇となりました。
- 一致指数は、前月と比較して4.9ポイント下降し、2か月ぶりの下降となりました。3か月後方移動平均は、0.53ポイント下降し、5か月ぶりの下降、7か月後方移動平均は、0.41ポイント上昇し、6か月連続の上昇となりました。
- 遅行指数は、前月と比較して1.2ポイント下降し、4か月連続の下降となりました。3か月後方移動平均は、1.3ポイント下降し、13か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.72ポイント下降し、20か月連続の下降となりました。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度
C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	0.32
C4: 県有効求人倍率(除学卒)	0.18
C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計)	0.07
寄与度がマイナスの系列	寄与度
C9: 県耐久消費財出荷指数	-1.49
C1: 県生産指数(製造工業)	-1.3
C3: 県投資財出荷指数	-1.12
C6: 県建築着工床面積(非居住用)	-0.85
C8: 県生産財出荷指数	-0.63
C7: 県百貨店・スーパー商品販売額	-0.1

※各個別系列のウェイトは均等です。

埼玉県景気動向指数について（参考）

1 景気動向指数とは

- 経済の各分野を代表し、景気に反応する複数の指標を合成・指数化して作成します。
- 景気に先行する先行指数、景気に一致する一致指数、景気に遅れて動く遅行指数があります。

2 作成方法

- 国（内閣府）の景気動向指数の作成方法に準じて作成しています。
 - ※ ただし、作成に使用している統計指標が国と埼玉県では異なりますので、数値の単純な比較はできません。ご注意ください。

この統計に関するホームページアドレス
『彩の国統計情報館』埼玉県景気動向指数のページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/keiki-doukou-shisuu2.html>